

生徒会だより

第 22 号

令和4年11月8日 発行 横山 小遙

★赤い羽根共同募金活動に取り組みます！

後期生徒会、最初の取り組みとして赤い羽根共同募金活動を行います。

なぜ赤い羽根共同募金といったボランティア活動を行うのか？

それは、その活動を必要としている相手の立場にたって、物事を考えることができる大切な機会だと思うからです。いまだに

新型コロナウイルスの影響を受け世の中には助けを必要としている人がたくさんいます。そういう状況を想像し、自分達に何ができるかを考え、そして行動することが求められています。

また、募金を通じて気持ちを「繋ぐ」ことで私達の日々の生活においても人との繋がりを大切にしようとする姿勢がもっと身に付いていくのだと考えます。

私達の目標は「繋ぐ」です。そして最終的には、お互いが成長しようとする雰囲気に繋がっていくのだと思います。

みなさんのご協力をよろしくお願い致します。

日程 (予定)	内容
11月 8日 (火)	通信発行 (全校生徒に連絡)
11月 11日 (金)	「昼の放送」で、取り組みの予告をする。
11月14日 (月) ~ 11月16日 (水)	募金活動 *朝の登校時 (8:00~8:15) に生徒玄関にて *8:15に職員室に募金箱を持ってくる。
11月24日 (木)	一斉専門委員会にて生徒会打ち合わせ *集計・通信作成
11月28日 (月) の週	通信発行 (全校生徒に結果報告)

☆赤い羽根共同募金Q&A

その1 「赤い羽根共同募金」の羽根は、どうして赤色なの？

「赤い羽根」は、**勇気と良い行いのシンボル**です。アメリカの原住民族は、いろいろな色の羽根飾りを頭などにつけていましたが、羽根には色によって意味がありました。勇気のある行いや、良いことをした人が、「あかいはね」をつけていたと言われていました。

自分のことだけでなく、相手のことを思いやり、行動することに対して、「赤い羽根」をつけるにふさわしい人物だという証なのです。



その2 どうして「赤い羽根共同募金」をするの？

私たちの住む町には、お年寄りや障がいのある人、子育て中の人など、暮らしていくのに助けが必要な人たちがいます。みんなが暮らしやすくなるお手伝いをするために、みんなでちょっとずつ助けあう。それが「赤い羽根共同募金」です。集められたお金は、福祉活動を行う団体に寄付されています。ノーマリー学習で学ぶ内容につながりますね。

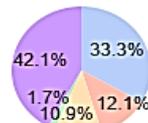


その3 函館市ではどんな場で募金されたお金が使われているの？

赤い羽根共同募金で集まった募金の約 7 割は、募金をいただいた地域で使われます。残りの約 3 割は、自分たちが住んでいる市区町村を越えた広域的な課題を解決するための活動に、都道府県の範囲で使われています。

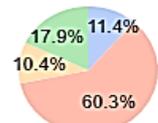
函館市 令和3年度 募金のつかいみち (内訳)

活動の対象



活動の対象	件数	金額
■ 高齢者	18件	3,504,376円
■ 障害児・者	15件	1,273,000円
■ 児童・青少年	14件	1,144,000円
■ 課題を抱える人	3件	184,000円
■ その他	22件	4,431,183円
合計	72件	10,536,559円

活動の目的



活動の目的	件数	金額
■ 日常生活支援	2件	1,199,376円
■ 社会参加・まちづくり支援	51件	6,356,011円
■ 社会福祉施設支援	5件	1,099,172円
■ その他の地域福祉支援	14件	1,882,000円
合計	72件	10,536,559円

函館市限定
土方歳三



函館市限定
赤い羽根共同募金

